

THE DAILY JESUS NEWS

An ATJ Ministries Publication by John Wright

デイリージーザスニュース #019

アンナはイエスが救世主であることを認める

ルカ2.36-38

=====

36 また、アシェル族のペヌエルの娘で、預言者のアンナという女がいた。彼女は結婚後七年間夫と暮らし、37 やもめとなつて八十四歳になったが、年老いていた。彼女は神殿を離れることなく、断食と祈りによって夜も昼も神に仕え続けていた。

38 ちょうどそのとき、彼女は彼らのところにやって来て、神を賛美し、感謝し、エルサレムの救済を待ち望んでいるすべての人々にその幼子について語り続けた。

=====

注: 私たちは「混合テキスト」の原典福音書を次のように上付き文字で識別します: マタイ = ^{MT}、マーク = ^M、ルーク = ^L、ジョン = ^J、使徒行伝 = ^A。この「上付きID」は引用文の冒頭に挿入され、別の上付き文字が現れるまでその聖書の書を識別します。さらに、**赤い斜体はイエスの言葉を示します。**

コンテキストダイジェスト

位置	エルサレムの神殿
時間	イエス誕生の8日後
の生涯の段階	第二段階：宣教の準備の30年間
第3章	イエスの誕生
セクション #019	アンナはイエスが救世主であることを認める

今日の朗読は、ルカの福音書のユニークな特徴の1つ、そしてイエスの総合的な表現を思い起こさせます。異邦人であるルカは、アブラハムの子孫だけでなく、すべての人々に対する主の公平で無条件の愛に特に敏感でした。これは、イエスの系図をアダムまで遡り、歴史上のすべての人

物をイエスと直接関係のあるものとしたルカのやり方に表れています。これは、ユダヤ人で主にユダヤのために書いたマタイが、系図をアブラハムで止め、イエスをすべてのユダヤ人の親族としましたが、世界中のすべての人々とは関係がないとしたやり方とは対照的です。

ルカは、イエスの無条件の愛と恵みを、社会で最も拒絶され、非難されている層、つまり貧しい人々や落ちぶれた人々に仕え、彼らと交わりたいというイエスの情熱を示すことでさらに強調しました。他の人々との接触を禁じられていた重い皮膚病患者から、非難された徴税人ザアカイまで、イエスは社会の最も権利を奪われた周縁の人々に手を差し伸べました。ルカは、イエスが女性を宣教に含めた方法によって、イエスの人生と価値観のこの側面を説明しています

最初の18回のDJN朗読で、ルカがマリアとエリザベスを登場させて、ザカリアとヨセフの役割のバランスをとっていることをすでに見てきました。ここで、シメオンに続いて、アンナが救世主を証言する重要な役割を担っていることがわかります。ルカが物語に男性と同数の女性を登場させたことは、彼の福音書のような文書では完全に反文化的でした。福音書は、史上最も偉大な人物の公式伝記となることを意図していました。1世紀では、それは男性によって男性のために書かれ、男性の証言によって確認された文書を意味していました。

ルカが福音書の中で女性に重要な位置を与えたのは、イエスが彼の文化で日常的にあった偏見や不公平を明らかに無視し、女性を男性と同じように扱っていたからです。ルカはこの点でイエスに深く感銘を受け、福音書の中でこの点に注意を喚起しました。結局のところ、性差別は考え得る最も基本的な差別形態です。それは人類の半分をもう半分と対立させ、その過程にすべての人を巻き込むのです。

私たちは今日、すべての人の平等を当然のことと考えていますが、それは1世紀におけるイエスの生き方において、言葉では言い表せないほど過激な部分でした。無条件の愛は常に反文化的です。イエスに当てはまるることは、イエスの信奉者全員にも当てはまるはずです。

今日は、幼子イエスが救世主であるというアンナの預言的な確認について簡単に説明し、神の子の誕生にまつわる出来事についてのルカによる説明を締めくくります。ルカが誕生物語を祈りで始め、祈りで終わらせていることは注目に値します。

すべては、神殿で祈るザカリアの祭司としての務めから始まり、同じ神殿で、神殿に住み、神に絶え間ない祈りと断食を捧げたアンナの執り成しの務めで終わりました。ザカリアは、聖所に入り、人々の祭司の代表としてそこで香をたき、祈りを捧げる機会が、生涯でたった一度しかなかったでしょう。一方、アンナは、60年間、神に祈りと賛美を捧げ続けました。彼女は、史上最も偉大な祈りの戦士であり、崇拝者の一人でした。イエスが私たち全員に開こうと来られた祈りの生活のなんと素晴らしい例でしょう。それは、常に神の存在の中で生きるよう私たちに教えることです。

神は、祈りを捧げる人々を用いて、神の偉大で永遠の御業を成し遂げます。そのことに疑問の余地はありません。祈りがイエスの誕生と生涯を準備したのです。

イブに救世主が来るという最初の約束が与えられて以来、神の民は救世主の到来を祈り続けてきました。イブからアンナまでの長い年月の間に、救世主に関する祈りがどれだけ捧げられたかは神のみが知っています。すべての祈りは、捧げられたすべての祈りの合計をはるかに超える形で答えられました。アンナは、私たちが求める前から人々の祈りを聞いてくださる神の人間としての誕生を、ルカの福音書。の中で最後に証言するにふさわしい人物でした

物語は次にマタイの証人に移り、イエスがかつて存在し、今も存在しているという確証的な証言を続ける。「救う主」彼の受胎、誕生、そして罪のない完璧な人生のあらゆる側面において。

応用：

神殿では毎日、決まった時間に祈りを捧げていたことを私たちは知っています。ザカリア、アンナ、その他大勢の人々は、決まった時間に祈りを捧げる規律を守っていました。祈りを一貫して行うには規律が必要です。それ以外に方法はありません。個人および集団の祈りのための決まった決まった時間がなければ、祈りは一貫して行われません。

あなたの毎日の祈りの時間は何ですか？三位一体の神と二人きりで個人的に祈り、礼拝する時間を毎日設けていないのなら、今からその約束をしますか？

毎日いつ祈りますか？これに関して、誰があなたの説明責任を負いますか？